

第3回ヒロシマの高校生が描いた「原爆の絵」展 in 有楽町

2021（令和3）年8月8日（日・祝）～14日（土）

11：00～18：00（初日は13：00～、最終日は17：00）

東京交通会館1Fギャラリー「パールルーム」

（東京都千代田区有楽町2-10-1 1F郵便局隣り）

<https://www.kotsukaikan.co.jp/business/gallery/>

原爆の絵写真パネル 30点

協力金（入場料）500円（税込：中学生以上、小学生以下は無料）

「語り継がねばならないが、語りたくない…」という状況が長らく続きましたが、
「被爆者も高齢化する中で何とかしなければ…」と、
勇気を奮い立たせて立ち上がった被爆者と高校生。
無理なく二人三脚で一步前へ…を実現させた、この挑戦は、
描かれた絵そのものの価値もさることながら、
その一連の行動にも極めて好感が持てる、実に優れた取り組みです。

広島市内各所で「原爆の絵」展覧会や「原爆の絵」に係るフォーラム等が開かれ、
NHK広島放送局では短編ドラマ化もされるほどですが、
残念ながら東京では、まだご存じでない方が多いのが現状です。
およそ戦争や原爆に係る意識や行動等にあって、
被爆地：広島・長崎と首都：東京では同じ日本ですが、大いに温度差を感じます。

だからこそ、「基町高校美術部（創造表現コース）」や「原爆の絵」の存在を、
老若男女を問わず、広く首都圏の皆様に、昨夏に続いて見知っていただくと共に、
戦争と平和について、また次世代への文化や歴史の継承の在り方（手法）など、
各々が様々な感じ、深く考察していただく契機となるよう願って止みません。

今夏も、ネットでは感じ得ないライブ空間のギャラリーで、
高校生の真心と熱意が込められた優れた作品の数々に触れ、
何かしらの学び・気づきを、たくさんの元気・勇気を得ていただければ幸いです。